

平成30年 10月17日  
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

平成30年度第1回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

## 解体撤去の検討状況について(北九州1期施設)

### 1. 平成30年度JESCO施設解体撤去の検討の進捗状況

#### (1) 除去分別等検証に係る計画、実施

平成30年3月28日のポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会にて解体撤去や除去分別技術の検証、実証、蓄積を行いつつ、段階的に解体撤去を進めていくことを報告し、除去分別等検証の計画、実施を進めている。

平成30年度は、下記を計画、実施する予定である。

- ①除去分別方法他の検証
- ②休止施設等撤去を実施する過程での検証

環境省等と協議を進めながら、計画、実施している。

#### (2) 北九州PCB処理事業所第1期施設解体撤去に係わる検討

具体的な解体撤去計画の作成のため、下記を検討している。

- ・1期施設解体撤去条件等の整理
- ・1期施設解体撤去の事前準備の計画
- ・施設解体撤去の技術的、価格的要素を踏まえた入札契約に係る方式の調査

尚、環境省、北九州市等とは、上記をふまえ、処理終了、解体撤去に係る課題の共有を進めているところである。

平成30年7月19日北九州事業部会にて本年度の検討内容、除去分別等検証の進め方、進捗の状況の報告を行った。主なご意見は、下記の通りである。

- ・解体撤去の入札方式に関しては、価格のみでなく、技術を評価することを踏まえた方式が採用できるように検討してほしい。

平成30年7月25日北九州市PCB処理監視会議にて、北九州PCB処理事業所解体撤去の進め方(案)(資料5別紙1)を説明した。具体的な進め方等は、次回以降の監視会議にて報告することとしている。

平成30年9月21日第1回技術部会にて除去分別等検証の進捗状況について報告を行った。主なご意見は、下記の通りである。

- ・検証を行う対象物には、高濃度のPCBが付着した装置、設備があるので、適宜、部会等委員の意見を聞きながら進めていくようにすることがよい。
- ・社会的信用性の向上や幅広い見解を得る等の場合は大事である。解体撤去マニュアルは、検証等結果や部会の内容等を付属させて、完成させていくのがよい。

### (3) 施設PCB付着状況調査

北九州1期施設については、昨年度までの結果を整理し、本年度実施分を計画中である。

大阪PCB処理事業所については、昨年度より、2年間の計画で実施している。平成30年度実施分は、現在調査中である。

その他事業所については、今後の予定等を考慮し、計画、実施する。

## 2. 検討の経緯

今までの検討の経緯は、下記の通りである。

### 平成28年度

- |             |  |
|-------------|--|
| 平成28年10月13日 | 第1回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会<br>解体撤去の基本方針、考え方等審議 |
| 平成28年11月22日 | 第1回技術部会報告                                    |
| 平成28年12月 6日 | 作業安全衛生部会報告                                   |
| 平成29年 2月17日 | 第2回技術部会報告                                    |
| 平成29年 3月31日 | 第2回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会進捗状況報告               |

### 平成29年度

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 平成29年 7月26日 | 北九州事業所の解体撤去を見据えた説明会、見学会        |
| 平成29年11月30日 | 作業安全衛生部会報告                     |
| 平成29年12月 8日 | 第1回技術部会報告                      |
| 平成30年 1月11日 | 北九州事業部会にて検討進捗状況報告              |
| 平成30年 1月12日 | 第1回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会進捗状況報告 |
| 平成30年 3月 5日 | 第2回技術部会報告                      |
| 平成30年 3月28日 | 第2回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会進捗状況報告 |

### 平成30年度

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 平成30年 7月19日 | 北九州事業部会にて検討進捗状況報告             |
| 平成30年 7月25日 | 北九州市PCB処理監視会議にて解体撤去の進め方(案)を報告 |
| 平成30年 9月21日 | 第1回技術部会にて進捗状況報告               |

## 3. 資料

資料5別紙 1 北九州PCB処理事業所施設解体撤去の進め方(案)

以上

# 北九州PCB処理事業所 施設解体撤去の進め方(案)

平成30年7月25日  
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

## 目次

1. はじめに	P. 3
2. 解体撤去等の方針	P. 4
3. 解体撤去の順序	P. 5
4. 解体撤去の進め方	P. 6
5. まとめ	P. 7

# 1. はじめに

- PCB処理施設は、営業物処理が終了した後、施設の解体撤去を行います。
- 北九州PCB処理事業所の施設解体撤去の具体的な方法の検討を進めるにあたり、解体撤去の進め方等に関して、ご報告するものです。
- 今後検討の進捗に合わせ、逐次ご報告を行ってまいります。

# 2. 解体撤去等の方針

下記の方針のもと、解体撤去を進めてまいります。

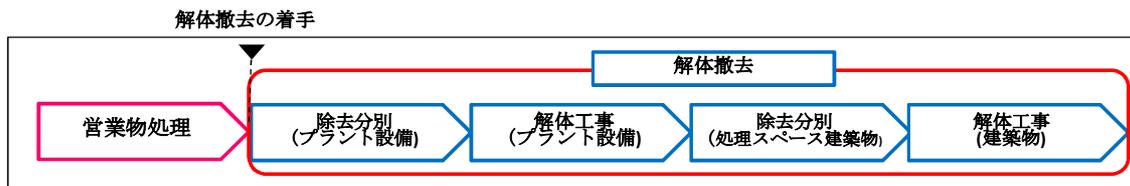
## 《解体撤去の基本方針》

- PCB廃棄物の無害化处理
- 周辺環境への配慮
- 作業者の安全衛生管理

## 《情報共有の基本方針》

- 立地自治体との事前協議
- 解体撤去前の監視会議、地域住民との情報共有
- 解体撤去開始後進捗等の情報共有

# 3. 解体撤去の順序



- ・解体撤去の計画、実施は、適宜、監視会議へのご報告、地元現場説明会を行いながら進めてまいります。
- ・営業物処理が完了した後、施設の解体撤去を行います。
- ・設備、機器、床、壁等に内在、付着しているPCBの除去及び分別を行います。
- ・プラント設備、建築物の順に解体工事を行います。
- ・環境モニタリングを行い、適宜、報告を行います。

除去分別：設備、機器、床、壁等に内在、付着しているPCBを取り除いたり、PCB廃棄物とPCB廃棄物でない廃棄物に分ける作業です。

環境モニタリング：解体撤去工事が周辺の環境に影響を及ぼしていないことを確認するために行います。

# 4. 解体撤去の進め方

	主な業務
1. 計画段階	解体撤去技術の検討 PCB状況調査(事前) 基本計画作成
2. 入札契約段階	仕様書作成 入札公告 入札、契約
3. 実施準備段階	施工要領作成 PCB状況調査 地元説明会 許可申請、届出 環境モニタリング
4. 実施段階	除去分別、PCB状況調査 解体工事、PCB状況調査 環境モニタリング PCB無害化处理 土壌汚染調査 整地 環境モニタリング

適宜、監視会議へのご報告、地元現場説明会を行いながら進めてまいります。

## 5. まとめ

- 解体撤去技術の具体的な方法の検討を進めてまいります。
- JESCOの有識者で構成される委員会等で助言を受けながら、解体撤去計画を作成してまいります。
- 適宜、北九州市、環境省と協議を進めてまいります。
- 検討の状況は、適宜、監視会議、地元住民の方と情報共有しながら、解体撤去の検討を進めてまいります。
- 今後もご指導、ご鞭撻お願いいたします。